第156回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成２９年９月２９日提出）

１．題　目：「正課内外のキャリア教育」と「みんなの就職支援」をつくる

２．日　時：　平成２９年 ９月２２日（金）　１６：００　～　１７：３０

３．場　所：長崎大学　文教キャンパス　グローバル教育・学生支援棟
　　文教スカイホール（４階）

４．主　催：就職委員会（キャリア支援センター）

５．対　象：全教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［ ○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［ ○　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義

今回、キャリア教育および就職支援において先進的な取り組みを行っている山口大学より講師をお招きし、本学のこれまでの取組内容を点検しつつ、今後のキャリア教育及び就職支援のあり方を学び、キャリア支援センターをはじめ各部局等におけるキャリア教育等の改善に繋げることを目的とする。当日は、講師に山口大学学生支援センターが設置されてから十数年間の取組の中で、特にキャリアの授業を中核としながら多様で多彩な正課外教育との組み合わせにより効果を発揮させてきたことについて、教育連携・相談重視のキーワードによりご講演いただく。

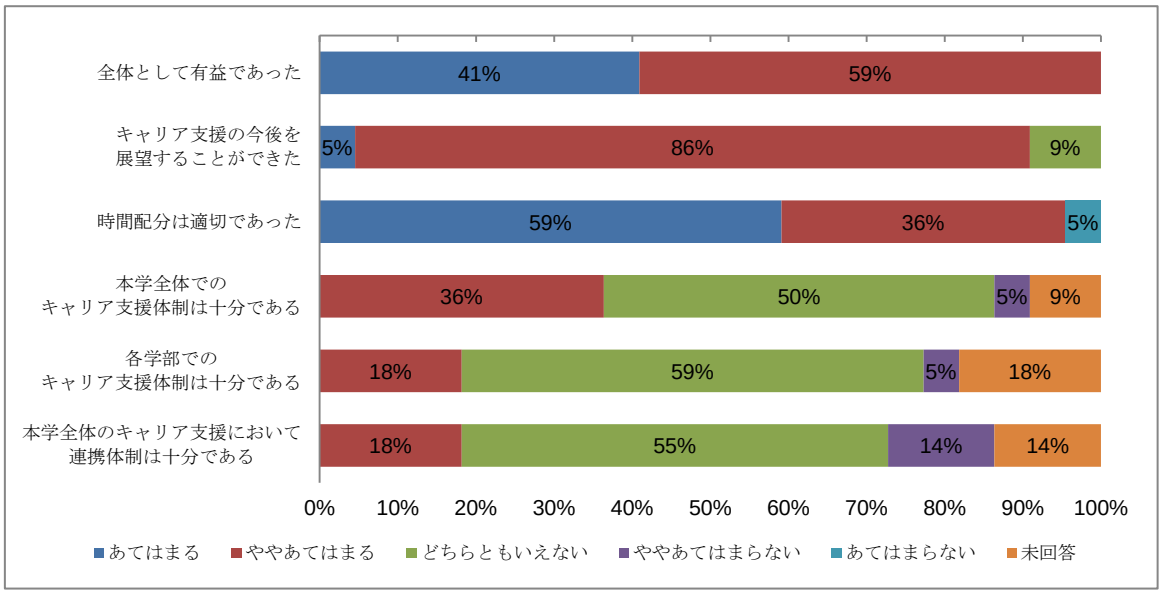
８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）

16：05　～　16：10　開会挨拶　堀内　伊吹副学長（学生担当）
16：10　～　17：20　講　　演
「正課内外のキャリア教育」と「みんなの就職支援」をつくる
講　　師　山口大学大学教育機構学生支援センター
平尾　元彦　教授
17：20　～　17：30　質疑応答

９．参加者：３３名
（内訳）

所属	集計	所属	集計
副学長（学生担当）	1	キャリア支援センター	1
水産学部	2	学生支援部	14
教育学部	1	財務部財務企画課	1
環境科学部	2	保健・医療推進センター	1
文教地区事務部学務課	1	地方創生推進本部事務室	3
障がい学生支援室	1	外部（他大学・他）	5
合　計　33名（受講証発行対象者：28 名（学外：5 名を除く））			

１０．実施したＦＤの成果等
（１）参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



以下自由記載欄のコメント

・企業への積極的参画へのアプローチが素晴らしい。
　キャリア学習の４項目の提供は企業内にも活用できそうです。アイディアがいいですね。
・学内での連携強化が必要だと改めて感じた。
・他大学の取り組みを聞けるのは有意義である。
・地元就職の意義付け等。具体策、etc.
・企業のセミナー内容について。大学から企業へ内容をお願いしているのが印象的でした。
　ただの企業説明会ではない勉強会というものに興味がもてました。
・キャリア教育においても座学だけでなくアクティブラーンニングを取り入れることで
　より具体的に自分の将来を考えるきっかけになると改めて実感しました。
　企業説明会はもちろんインターンシップなどより実践的な機会を提供していけたらと思いました。
・学生への接し方を改めて考える良い機会になりました。（おせっかいの声かけ）
・学科（ゼミ）の教員とセンターとの情報での連携が就活で二極化し、動かない学生の支援で必要。
　地元企業でインターンシップの受け入れ先を現実的に開拓する必要。
・実際に就職して働いている元学生の意見を多く取り入れれば就活で本当に必要であったことがわかるのでは、
　と思っています。
・障がいのある学生への支援についてどのような方法があるのか？

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

参加者のアンケートの集計結果から、「全体として有益であった」、「キャリア支援の今後を展望することができた」という問に対して、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせるとそれぞれ、100％と 91％であったことから、講演内容については非常に評価が高かったといえる。

しかし「本学全体でのキャリア支援体制は十分である」「各学部でのキャリア支援体制は十分である」「本学全体のキャリア支援において連携体制は十分である」という支援や連携体制については、「ややあてはまる」がそれぞれ 36％、18％、18％であり、連携を強化していく必要があると分析できる。

今回の講演会は、山口大学の正課内外で実践されている多数の事例を紹介して頂き、今後の本学での取り組みとして多くの示唆を得ることができた。

「みんなのキャリア教育・みんなの就職支援」をつくるためには、キャリア支援センターだけでなく各部局との連携が重要であるが、教員の参加が少なかったことから、キャリア支援に対する教職員の意識改革も必要であると総括できる。

１１．実施代表者の連絡先

部　局：就職委員会

職　名：委員長（学生担当副学長）　　氏　名：堀内　伊吹

e-mail：horiuchi@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２１７８

１２．申請者の連絡先

部　局：学生支援課キャリア支援班

職　名：班長　　氏　名：橋口　洋二

e-mail：yoji@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：２１０１